

## 令和8年第4回南魚沼市教育委員会 会議録

- 1 日時場所 令和8年4月23日(木)9時30分開会  
南魚沼市民会館 会議室研修室
- 2 出席者  
委員：岡村秀康教育長、角谷正雄委員、須藤文子委員、川島亜紀子委員、青木新一委員  
事務局：高橋教育部長、関学校教育課長、西潟社会教育課長、須藤生涯スポーツ課長、井口子ども・若者相談支援センター長、羽吹図書センター長、斎藤学校給食推進室長、小野塚管理指導主事、笠原管理指導主事、奥村指導主事、佐藤囑託指導主事、中澤指導主事、岡田学校庶務主幹

### 3 議題

#### 日程第1 会議録署名委員の指名について

川島亜紀子委員、青木新一委員

(教育長) 第3回南魚沼市教育委員会会議録について質問や修正箇所等はあるか。

なし

#### 日程第2 教育長及び事務局諸報告

(教育長) (日程2ページ以降を説明)

(青木委員) 5月16日の八海醸造杯ソフトテニス大会が報告にある理由を教えてください。

市報4月号に生涯学習に関する「まなびい」という冊子が入っていたが、社会教育課のものに限らず、全戸配布するような内容は広報活動の一つであるため、この教育長及び事務局諸報告に掲載してはどうか。

(教育部長) 八海醸造杯ソフトテニス大会は、教育長が開会の挨拶をするために出席しているため、掲載している。

(社教課長) 全戸配布するような内容は、この報告に掲載することとしたい。

(教育長) 社会教育課以外の部署も同様の考えで掲載するようお願いする。

(川島委員) 海外派遣について、今年は応募数が少なかったようだが、物価高騰やニューヨークの治安が心配といったことが要因としてあるか。

派遣の選考について、ここ数年、生徒会長が選ばれているという声を市民から聞く。生徒会長になる子どもは人格も優れているため、結果として選ばれることが多くなると思うが、選考の際に生徒会長であることが考慮されるようなことはあるか。

(学教課長) 応募数については、昨年と比較してそれほど少なかったということはなく、物価高騰や治安といったことの影響はなかったと思っている。ただ、学校によって応募数に差があるため、理由は探っていきたいと考えている。

生徒会長が考慮されるかについては、加点のような優先される要素はない。ただ、生徒会長や役員をやっている生徒の応募が比率として多い印象はあり、作文や面接をしてみると、人前で話すことに慣れているとか、アピールが上手であるということは感じる。

#### 日程第3 管理指導主事等からの報告

(笠原管理) 中学校は4月9日、総合支援学校は4月10日に入学式があり、学校がスタートをした。中学校では生徒会の入会式や避難訓練、身体測定、部活動体験などが行われ、大きなトラブルはなく、順調にスタートしている。

いじめ不登校の昨年度の実績であるが、いじめの認知件数が上がっている。昨年度、

校長を対象にした研修会を行ったり、校長会での指導を継続したりして、子どもの困りごとを早めにキャッチして、小さなうちに対応することを指導した成果と考えている。不登校については、毎年多寡があるが、昨年度は若干減った。中学校で、校内教育支援センター、いわゆる別室で過ごしやすい環境を整えている成果があったと思っている。今年度も新規の不登校を生まないように、早期対応を心がけるように指導していきたい。

(小野塚管理) 小学校について、入学式が行われ、順調に授業が進んでいる。1年生を迎える会を実施して温かく教育活動が進んでおり、5月の運動会に向けた動きも始まっている。これまでに、大きなトラブルは起こっておらず、この後連休に入っても、特に1年生が困ることがないように、校長に話をしているところである。

教職員の交通事故が発生した。けがはなかったが、4月30日の校長会で交通安全を指導したい。

当地域は新採用が多くあり、春先、体調を崩す教職員もいるため、心身に注意を払って、高い学校づくりを指導していく。

(奥村主事) 特別支援教育について、6月下旬から就学相談など、今年度の動きが始まる。まずは、就学相談に関わる先生方に対して、就学相談研修会を5月18日から6月19日の間で、各中学校区で実施する予定である。就学相談に関する手続きや、相談での考え方など県の特別支援学級ガイドラインに沿った内容を先生に伝達していきたい。また、インクルーシブ教育推進室と学習指導センターと共催で、特別支援教育の研修を計画している。5月28日に、発達支援ステーションシエル所長を講師に、ティーチャーズトレーニングと題して、子どもたちへの対応について研修をする予定である。7月7日に同じ講師の研修を行う予定であり、年間5回の特別支援教育に関する研修を行う予定である。

(佐藤主事) 教育相談について、特別支援教育にも関わる学校の現状と要望を把握するため、5月中に特別支援教育担当の奥村指導主事と一緒に、小・中・総合支援学校21校を訪問する。そこで、特別支援学級在籍の児童生徒の今の状況や、通常学級において個別に支援をする児童生徒の状況、昨年度30日以上欠席があり、かつ、連携支援機関とのつながりがない児童生徒の状況等を聞き取りや授業を参観するなどして把握していく。その後、専門機関、あるいはスクールソーシャルワーカーとの連携等、具体的な対応に取り組んでいく。

(中澤主事) (日程4～8ページを説明)

(須藤委員) いじめの認知件数について、否定的ではなく、先生がいろいろな視点からアンテナを張っている実績だと捉えている。八海中学校の認知件数が少ないのは、ソーシャルスキルトレーニングやコミュニケーショントレーニングなど、人間関係づくりなどの実践によるものかなど、情報があれば教えてほしい。また、小・中学校共通して、軽度の冷やかしの件数と、嫌なこと、恥ずかしいこと、危険なことの件数が高い要因を教えてほしい。

(笠原管理) 八海中学校の認知件数が少ないことについて、校長の研修会や校長会等で生徒の実情に応じた報告ということを繰り返し指導しているが、先生全体に浸透しているか確認が難しい。法に従って、いじめ認知を積極的にしていかなければいけないことを、これからも強調していきたい。また、特別なソーシャルスキルの充実ということは把握していないが、八海中学校では、レベルアップ集会というものがあって、みんなで気持ちよく過ごそうとか、団体での集団行動はこうしよう、相談事があったときにはこうしよう、というような活動をしており、そういったことが功を奏しているかもしれない。

いじめの内容について、人権を尊重するというところに、まだまだ意識が足りていないと感じている。アンテナを高く張ることが大事なことだと思っているが、いじめ解決に向けて動いていくことも大事であると考えている。

(川島委員) いじめの状況について、「改善が見られていない」に該当するものは、不登校につながっているからといった理由などがあるが教えてほしい。

いじめの程度について、パソコン・携帯で誹謗中傷、嫌なことをされるという内容が昨年より増えている。学校で、スマホの使い方や SNS の使い方などの研修等を保護者向けにしているか教えてほしい。

(笠原管理) いじめの「改善が見られていない」については、それが直結して不登校につながっているということはないと捉えている。仲良くはできない、謝っているけど許せない、といったことが残っていると捉えている。

スマホや SNS の研修については、PTA を中心に SNS 講座など実施しているところは増えていると思っている。

(角谷委員) 学習指導センターの資料に ICT 研修がある。情報モラル教育は教職員向けと思われるが、保護者向けも取り組めるといいと感じた。

(中澤主事) ICT 研修は毎年実施しており、昨年度は各学校の情報主任 1 名の悉皆研修にして、研修内容を学校に広めてほしいとお願いしたところである。なお、その研修に講師の長岡市の先生を自分の学校に呼んで、児童生徒、保護者向けの研修を実施した学校があると聞いている。ICT に関して青木教育委員が詳しいということで、講師を選定いただいて、今年度も実施する予定である。

(学教課長) 学校教育課では、各学校に情報リテラシー教育に関する取組の補助を実施しており、これを講師の費用に充てるなどしていただいて、学校での研修会開催を支援している。

(教育長) 情報リテラシー教育について青木教育委員が詳しいとのことなので、補足をお願いしたい。

(青木委員) 保護者に向けて、どのようなことを発信するか取り組んできた。長岡市の先生は、保護者に対してスマホを持たせる責任・管理の重要性を話していただいた。どちらかといえば、専門が保護者向けであるため、現場の教職員向けの研修には、市内の中学校に今年度着任された先生が適任と考え、講師にされてはどうかと話しをさせていただいた。

若手の先生が多いという実態を踏まえて、「読む力の育成」に関して冊子等を配布したとのことだが、特に若手の先生が、どういう方法で取り組めばいいか、また、リーディングスキルテストをどのようにして検証するかお聞きしたい。

8月20日の郡市教員全体研修「授業づくり・学級づくり」について、講師は東京大学の准教授となっているが、講演内容が学術的になってハードルが上がってしまう傾向がある。若手の先生が取り組やすい、分かりやすい講演になるようにしていただくと有意義な研修になると思う。

研修講座の中のプログラミング教育の内容について、教えてほしい。

(中澤主事) 「読む力の育成」の方法については、「読む力の育成」の経緯や冊子の活用などを含めて、5月に第1回目の管理職と研究主任に対する学力向上推進研修を行う。リーディングスキルテスト、いわゆる読む力を図るテストを小学校6年生、中学校1～3年生に実施し、全国学力テストとの関係性を分析し、年度の後半に第2回目の学力向上推進研修のとして、結果検証に取り組んでいく。

若手の先生に対しては、学校訪問で授業づくりの段階でのサポートや、授業の協議会での学校全体へのサポートをしたいと考えている。

教員全体研修については、昨年度の講演会が学術的なものであったと感じている。

若手の先生が元気よく学校生活や授業に望めるような研修にしたいと考えており、講師の先生にも意向を伝えたい。

プログラミング授業については、理科センターが主催をしており、その担当が一緒に授業づくりをして参加者を募集し、その授業の様子を見ていただくような研修であると承知している。

(青木委員) 研修や研究は現状分析が非常に大事だと思っている。リーディングスキルテストと全国学力テストとの関係性を確認して、少しでも現場が取り組みやすい研修にしたい。

#### 日程第4 **第28号議案 教育財産の用途廃止について**

(図書センター長) (日程9～10ページを説明)

(須藤委員) 図書館カフェは11月にオープンということだが、工事期間はどれぐらいか。また、工事中の騒音は、図書館の利用者に影響があるか。工事による図書館の利用時間の短縮などの措置は予定されているか。

(図書センター長) 工事期間は計画段階だが、7月中旬から9月下旬もしくは10月上旬と聞いている。工事中の騒音については、図書館閉館後の20時以降に音が出る工事をするという。利用時間の変更などはせず、通常どおりの開館時間で運営する予定である。

#### 日程第5 **第29号議案 南魚沼市図書館協議会委員の任命について**

(図書センター長) (日程13ページを説明)

(川島委員) 委員の名簿を見ると、子育てに関わる方たちが多いように感じる。図書館は幅広い年齢層に利用いただくため、高齢者のグループであるとか、年配の方々が委員になっていただくことも必要と感じた。これからの世代ということで、子育ての方たちに小さい頃から本に触れていただくことはもちろんだが、図書館利用は10代、20代、30代が少ないという現状もあるため、そういう世代が協議会に入っていて、どうしたら利用が増えるのか、どういったことに関心があるのかなど話し合っていていただくことが必要と感じた。

(図書センター長) 利用する方は、やはり学校、子育て、駅利用者が多くはなっており、今後、読書に親しんでいただく世代を増やすということから若者関係の方が多くなっていると思うが、次回の選考では、ご意見を参考にしながら検討したい。

(須藤委員) 他の委員任命の議案だと備考欄に新任、継続が分かるようになっている。委員が新任かどうか教えてほしい。また、任期は今年度末となっているが、1年ごとに変わるのか。

(図書センター長) 名簿の1、6、8、9番目の方が新任で、ほかの方は継続である。任期は2年であり、正しい任期満了日は令和10年3月31日までである。

#### 日程第6 **第30号議案 南魚沼市民会館条例施行規則の一部改正について**

(社教課長) (日程14～18ページを説明)

(川島委員) 多目的ホールについて、学校関係や公共機関が使っていた日程を確保したうえで、営利目的の方たちに同じ予約期間の設定で貸し出すという説明なので、問題ないと感じた。平日利用の多くを占めていた保健課の利用がなくなるということだが、カバーできるように広報活動などの予定はあるか。

(社教課長) 営利団体の利用は年間10日程度であり、広報活動をしなくても保健課の利用中止分を埋めていくことは難しいが、予約期間の延長には、指定管理者が自分たちで稼げるものは努力したいという思いがある。

(角谷委員) 予約期間を延ばすことでどの程度利用が伸びるのか、それによって市民や公共団体

の利用にどの程度影響があるのか分かれば判断材料になるが、情報はるか。

(社教課長) 今後の利用の伸びなど、予想が難しいところがある。

(教育部長) 営利団体の利用は物品販売業者の展示会などが主で、平日昼間が多い。市民の利用は平日昼間がほとんどないため、重なる可能性は低い。また、市民が毎年、あるいは定期的に使うような行事は指定管理者が把握しており、確保もしておけると承知している。

(角谷委員) 営利団体の利用が平日に多いのであれば、平日だけ予約期間を延ばしてはどうか。

(須藤委員) 市民への影響がほとんどないという予想であれば、予約期間を平日、休日問わず延ばしてもいいと思う。

(教 育 長) 予約期間を延ばすことにあたっては、市民が利用する恒例のもの、定期的なものについて把握をして、影響がないような対応をお願いする。

#### 日程第7 **第31号議案 南魚沼市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について**

(社教課長) (日程19ページを説明)

(川島委員) 委員の履歴書や経歴書は取っているか。

(社教課長) 履歴書などは取っていない。

(須藤委員) 新任の委員は、事務局で人選したうえで打診するのか。

(社教課長) 事務局で人選して、打診している。

(教 育 長) 今回、前任者から後任を推薦してもらおうという方法ではなく、事務局で分野別に人選をして打診した。

(川島委員) 電話だけだと行き違いが起こることがあり、人となり把握しづらいこともあると思う。教育委員会で委嘱をすることになるため、次回以降、人選する際には面談などの時間を設けたほうがいい。

(社教課長) 今後は、面談等を行って人選をするようにする。

#### 日程第8 **第32号議案 南魚沼市家庭教育支援チーム員の委嘱について**

(社教課長) (日程20ページを説明)

(青木委員) この名簿の委員が、民生委員などを兼ねているといった情報は持っているか。

(社教課長) 情報は持っている。名簿の7番目の方が民生委員を兼ねている。

#### 日程第9 **第33号議案 南魚沼市文化財保護審議会委員の委嘱について**

(社教課長) (日程21ページを説明)

質疑なし

#### 日程第10 **第34号議案 南魚沼市スポーツ推進審議会委員の委嘱について**

(スポーツ課長) (日程22～23ページを説明)

(角谷委員) 市スポーツ協会推薦として、理事長と副会長が委員になっているが、副理事長ではないか。

(スポーツ課長) (時間をおいて確認) 資料のとおり、副会長で間違いはない。

#### 日程第11 **第35号議案 南魚沼市スポーツ推進委員の委嘱について**

(スポーツ課長) (日程24ページを説明)

質疑なし

#### 日程第12 **第36号議案 令和8年度南魚沼市奨学金貸与基金条例に基づく貸与者の決定について**

(学教課長) (当日配布回収資料を説明)

質疑なし

日程第13 **第7号報告 南魚沼市教育基本計画の中間見直し（後期計画策定）の方向性について**

(教育部長) (日程 25～26 ページを説明)

(須藤委員) 分野別で検討するという説明があったが、後日、詳しい資料が配布されるか。

(教育部長) 資料を追って出させていただく。

(11:40 休憩)

(11:45 再開)

日程第14 **そ の 他**

**(1) 子ども・若者相談支援センターの相談等状況（3月分）**

(子若センター長) (日程 27～28 ページと当日配布資料を説明)

(川島委員) スタディルームの実施状況について、子若センターと大和ルームの合算だと思うが、大和ルームの利用状況を教えてほしい。

(子若センター長) 令和7年度の大和ルームの利用は、毎週利用している小学生が1人いた。塩沢（子若センター）まで来るのが難しいということで大和ルームを使い始めた。中学生の利用もあるが、正確な人数は手元に資料がない。

(須藤委員) これまでのコミュニケーショントレーニングについて、教育委員会が出た意見を踏まえて新しい動きを始めたことは良いことで、実態に合った内容になってきていると感じたので、結果を見ていきたいと思う。

**(2) 家庭教育支援事業実施状況（3月分）**

(社教課長) (日程 29 ページを説明)

質疑なし

**(3) 学校・地域の連携促進事業実施状況（3月分）**

(学教課長) (日程 30 ページを説明)

質疑なし

**(4) 令和8年度地域学校協働活動推進員について**

(学教課長) (日程 31～32 ページを説明)

質疑なし

**(5) 令和8年度教育関係予算について**

(教育部長) (日程 33～38 ページを説明)

質疑なし

**(6) その他**

(学教課長) (令和8年度南魚沼市中学校部活動及び認定地域クラブ活動の活動計画と部活動改革だより第10号を当日配布) 令和8年度の休日の部活動と地域展開を資料の内容で進めていくので確認いただきたい。

(教 育 長) 今後の日程について、次回教育委員会は5月26日（火）午前9時30分から南魚沼市図書館多目的室で行う。次々回教育委員会は、6月25日（木）午前9時30分から南魚沼市民会館会議室研修室で行う。以上で第4回教育委員会を閉会する。

12時20分閉議閉会